

地方議会の Web サイト活用の現状と市民意識（1）
－地方議会 Web サイト評価方法－

Website Use by Local Assemblies and Civic Engagement: Part I
Evaluating Websites of Village Assemblies in Japan

水上茉優¹
中條美和²

Abstract

This note explains the indexes of evaluating websites of village assemblies in Japan. The indexes consist of 8 items which cover functionality, linkage to local government, web accessibility, information access, information items, assembly members information, DX, and resident friendliness. We aim to publish the indexes for general uses such as evaluating and analyzing the political accountability of 183 village assemblies in Japan.

¹ 投稿時 津田塾大学総合政策学部総合政策学科4年、Mayu Mizukami, 4th Year, Department of Policy Studies, College of Policy Studies, Tsuda University.

² 津田塾大学総合政策学部総合政策学科准教授、Miwa Nakajo, Associate Professor, Department of Policy Studies, College of Policy Studies, Tsuda University.

2023年3月14日受理、2023年11月7日採択、2023年11月8日公開。

引用情報：水上茉優・中條美和.(2023).「地方議会の Web サイト活用の現状と市民意識（1）－地方議会 Web サイト評価方法－」津田塾大学『総合政策研究所報』2023年度: 20-35. <URL>

本研究は、日本の183村議会全てを対象に、村議会Webサイトの特徴を88ポイント8種類の項目に基づいて指標化 (<https://whogoverns.tsuda.ac.jp/data/vaw.html>)、市民意識との関係を検証する。第一部では、地方議会Webサイトの評価方法を説明し、第二部ではその地方議会Webサイト指標を用い、市民意識との関連を分析する。

1. 概念と測定方法

地方議会の広報活動が住民に届いているかという観点から、地方議会Webサイトの充実度を住民視点で測る。対象とするのは全国に183ある村議会である³。後述する指標をもとに実際の村議会Webサイト全てを目視で点数化する。

評価方法として目視で確認する方法をとった。目視による評価は、自治体サイトや、デザインの異なる複数のWebサイトから情報の有無や活用方法を集計する上で広く利用される方法である(有馬2014、山本ら2011、中山ら2006)。北尾ら(2003)が大阪府下43市町村を対象に行った自治体Webサイトトップページの評価においても、自治体ごとに異なるサイトの配色デザインや整理の仕方、イラスト表現といった独自の複数の評価ポイントを設けた評価方法が用いられている。いずれの研究も8年以上前であり、測定方法の時代的背景を考慮する必要があるが、議会サイトでも、住民の閲覧を想定した上で異なる内容を評価し比較するためには、指標を作成した独自評価が望ましい。本研究では、「議会の機能性」「自治体との連携」「アクセシビリティの意識」「情報の得やすさ」「情報項目の多さ」「議員情報の多さ」「デジタル活用」「住民を意識した観点」の8指標を設け、各指標の中で複数の評価ポイントを定め、議会サイトを客観的かつ住民の視点を持ちながら点数化することを試みた。

指標の作成にあたり、実際にWebサイトを確認して設けた指標が多数であるが、部分的には北尾ら(2003)の用いた指標や、仲川ら(2001)によるWebサイト評価のアンケート項目といった研究を参考にした。加えて、専門性を持ってWebサイト进行评估している日経BPマーケティング「Webブランド調査」の評価ポイントも一部参照した。各村議会の構造上の違いから、議会の項目を単に比較することが難しいという指摘もあるが、複数の評価指標を用いて多角的にサイト評価を行うことで、評価の偏りを防ぐ。議会サイトへのアクセス期間は2022年11月、評価にはMacbook(12inch、2017)のSafari、スマートフォンに関してはiPhone13を使用した。以下は、それぞれの指標とそれに基づく指標ポイントである。各自治体Webサイトの情報・評価ポイントの例は付録⁴を参照されたい。

2. 評価指標

(1) 議会Webサイトの機能性

³ 地方公共団体コードに従い、北方領土の6村は含めていない。

⁴ 「地方議会のWebサイト活用の現状と市民意識」付録 (<https://whogoverns.tsuda.ac.jp/data/vaw.html>)

サイトを評価する上でまず重要なのは、議会が適切に機能し住民にとって情報を得やすい環境が整えられているかである（表1参照）。

表1：(1) 議会 Web サイトの機能性に関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	3	2	1	0.5	0	-1
①議会 Web サイトの有無	議会独自のサイト	自治体サイトとは別ウィンドウで開くサイト/ページタイトルが「○○議会」	自治体サイトの中の一つの項目	自治体サイトの中の一つの項目だが、議会サイトのトップページ無	議会サイト無	-
②議会トップページの画面	画面全体	画面の半分	画面の一部	-	議会サイト無	-
③活動していない他 Web サイトの有無	-	-	-	-	現在使用されている議会サイトのみ有り	現在は使用されていない/危険性がある議会サイト有
④検索結果	10以上	5~9	1~4	-	0	-
⑤議会 Web サイトの最終更新	2022年6~11月	2022年1~5月	2021年	-	2021年以前/更新日不明/議会サイト無	-

①（5段階評価）：議会サイトは、自治体サイトの中の一項目と置かれていることが多いため、自治体サイトの中に議会サイトが一部として存在している場合を基準とした。議会独自のサイトがある、自治体サイトとは別ウィンドウで開く、ページタイトルが「○○議会」であるなど、サイト設置に意欲的と捉えられる議会と、議会サイトが消極的な存在に留まって場合を区別した（付録図1）⁵。②（4段階）：議会サイトのトップページや、無い場合は議会の情報が初めに表示されるページの、スクロール無しの画面内で表示される大きさを調べた。全画面表示で確認を行い、画面全体に議会についての情報や写真がより多く見えるほど、サイトへの注力が見えるとした（付録図2）⁶。③（2段階）：「自治体名 議会」と検索した際、現在は使われていない古いリンクや、クリックするとページの危険性の警告が出るサイトが表示された場合、住民にとって情報取得における混乱や危険性が生じると考えた。④（4段階）：「自治体名 議会」の検索結果がブラウザ（3ページ以内⁷）でどれだけ表示されるかを確認した（確認期間：2022年11月1日～11月25日）。検索の時点でサイトの内容がより多く反映され、住民が議会情報を見つけやすいことが、議会サイトが適切に機能していると言える条件の一つであると判断した。カウント

⁵ 以後、点数について、1ポイントほどではないが区別するのが適していると判断した場合は0.5ポイントとしている。

⁶ サイト内が項目ごとに整理されているなど、サイトの構造等に関しては、指標(4)情報の整理の評価に含めている。

⁷ 議会によって検索結果の表示量は異なるが、サイトに掲載されている公式の情報が表示される場合の多くは1~3ページ目に集中していることを確認し、評価ポイントを作成した。

するのは議会がサイトで公表している内容に限定し、他サイトによる情報や新聞記事などは除外した。また、議会サイトに掲載されている選挙情報も、議会によって選挙のタイミングが異なることを考慮しカウントしていない。⑤（4段階）：更新が最近であるほど、議会サイトが情報の伝達手段として使われている証拠であると言える。

(2) 自治体との連携

自治体の活用する Web サイトと議会情報がどの程度連携して住民に提供されているかを測った（表2参照）。議会サイトが閲覧されにくい現状を考えると、自治体サイトに議会についての情報があることで議会サイトや議会への注目が増す可能性がある。さらに、議会サイトが存在しない場合、自治体の Web サイトにおいて議会情報がどのように発信されているか知るために重要な指標となる。この指標は基本的に自治体トップページの情報に関する評価であるが、自治体サイトの構成上、分野ごとにサイトが細分化されているなど独自性が見られる場合がある。評価を公平に行うため、トップページとみなせるページを評価の対象とした。

表2：(2) 自治体との連携に関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	2	1	0.5	0
①新着情報やお知らせ	-	議会に関する情報の掲載有り	欄はあるが、情報の掲載無し	情報無し
②議会だより	最新の議会だよりを掲載	自治体広報誌の一部に掲載	議会の内容が一部抜粋され掲載	掲載していない
③議会中継ページ	-	議会中継ページ/他サイトへのリンク掲載	-	掲載していない
④議会会議録	-	掲載している	-	掲載していない
⑤自治体トップページ上の議会サイトのリンク数	数に応じて点数化			リンク無し
⑥目次	-	目次によって整理されている	トップページではない場所に目次有	目次無し

①（3段階評価）：自治体サイトのトップページにある新着情報欄やお知らせ欄に、議会の定例会の日程や開催内容、議会だより更新といった、議会情報に関するアップデートがあるかを検証した。議会専用スケジュール欄等が設けられていてもその内容が閲覧できないなど、情報提供の環境は整っているが内容が伴っていない場合は0.5としている。②（4段階）：議会だよりは、主に会議の結果や議会の活動を報告する媒体として配布されている。議会サイトの発達に関係なく、自治体が議会の最新情報を場所や時間の制約なしに閲覧できる状態を作っているか評価した（付録図3）。③（2段階）：自治体トップページからオンラインで会議の傍聴に参加することのできる機会が増えることで、議会サイ

トの閲覧者も増える可能性がある。④（2段階）：議会会議録は、定例会や臨時会といった会議で議論された内容を記録している。⑤議会サイトがある場合、自治体トップページ上では議会サイトに到達することのできるリンクがある。リンクが複数あれば、住民が自治体サイトから議会サイトへアクセスすることができる機会が増える可能性がある。自治体トップページから議会サイトに行く手段の数に応じてポイント化した（付録図4）。なお、自治体によっては議会サイトと議会事務局のページを別々に設けている場合があるが、議会サイトへの道筋のみカウントした。⑥（3段階）：自治体トップページの議会情報が目次機能を活用して整理されている場合、各住民が欲する情報を効率的に得やすい環境が構築されていると考えた（付録図5）。

(3) アクセシビリティの意識

重要な情報源が掲載されている場所として、サイトを訪れる人々ができる限り支障なく閲覧することができる状態を想定したサイトの構築が求められる⁸。本研究ではサイト閲覧支援ツール⁹を含む7種類の評価ポイントを作成した（表3参照）。ただ、多くの議会サイトは自治体サイトの一部であることを考えると、アクセシビリティは自治体の認識の高さに依存していると言える。また本指標でも、自治体サイトの構成が行政や観光といった分野ごとに分類されている場合、トップページとみなすことができるページを評価対象とした。

表3：(3) アクセシビリティの意識に関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	4	3.5	3	2.5	2	1	0.5	0
①自治体サイトから議会サイトへのクリック数	-	-	1クリック	-	2クリック	3クリック	-	議会サイト無し
②サイトリンクの数	数に応じて点数化							サイトリンク無し / 議会サイト無し
③自治体サイトにおける議会サイトの位置	スクロール無し	スクロール無し、マウスオーバー	サイト上部	サイト上部、マウスオーバー	サイト中部	サイト下部	サイト下部、サブメニュー内	サイトへのリンク無し / 議会サイト無し
④議会サイトへのリンクのデザイン	[ボタン] 議会に関する写真	[ボタン] 議会に関する写真	[ボタン] 議会に関するアイコン	[ボタン] 議会に関するイラスト等	[ボタン] 「〇〇議会」といった文字のみ	[文字のみのリンク] 目次内など	-	リンク無し / 議会サイト無し

⁸ 総務省情報流通行政局情報通信利用促進課、2016年。

⁹ 厚生労働省『サイト閲覧支援ツール』。

⑤文字の大きさと背景色	-	-	-	-	どちらも変更できる	文字のみ変更できる	-	機能無し/ 議会サイト無し
⑥ふりがな、読み上げ機能	-	-	-	-	どちらも変更できる	どちらか一方が変更できる	-	機能無し/ 議会サイト無し
⑦日本語以外の言語への対応	-	-	-	-	言語対応・やさしい日本語有り	言語対応有り	-	対応無し/ 議会サイト無し

①（4段階評価）：クリックの回数が少ない方が議会サイトにスムーズにアクセスでき、回数が多ければ議会サイトへの経路が複雑かつ見えにくく、注目されにくいものになっていると判断した。最短では自治体トップページから議会トップページまで1クリックである。回数が増えるごとに1点減点した。なお、自治体サイトから議会サイトまでのクリック数を測っているため、自治体トップページと行政トップページを分けて作成している自治体サイトのクリック回数が特に多くなっている（付録図6）。②（数に応じた評価）：Googleでは検索結果を表示する際にサイトリンクを設けている。これは同じドメインの中にある情報のリンクが目次のように表示されるものであり、Googleアルゴリズムによって役立つと判断されたリンクが反映される。サイトリンクを表示させるには、サイト内のタイトルや見出しが簡潔、ユーザーがページ間を移動しやすい論理的な構造といった条件が必要となる¹⁰。本評価ポイントによって、議会サイトの使いやすさや見やすさを測ることができる。「自治体名 議会」で検索した際に、議会サイトにおいて表示されるサイトリンクの数を点数とした（付録図7）。③（8段階）：自治体トップページにおいて、議会サイトへのリンクがページ全体のどの位置にあるかを評価した。全画面表示で自治体トップページを開き、スクロール無しで議会サイトのリンクが見つけられる場合、住民にとって議会サイトに関する情報が最も目に入りやすく、議会サイトのリンクがトップページの下部に行くほど見つけにくくなる。リンクの位置は、ページの右側に表示されるスクロールバーの位置を参照した。また、自治体サイト上でマウスオーバー（画面上にカーソルを置くのみで表示される機能）を活用し議会サイトのリンクを整理している場合も区別して点数づけした。（付録図8）。④（7段階）：自治体トップページにおいて、議会サイトへのボタンやリンクが見つけやすい見た目である場合、議会の情報に辿り着きやすい。ボタン形式のリンク、文字のみのリンク、リンクが無い状態に分類されることが確認できた（付録図9）。⑤（3段階）：議会サイトにおいて、①フッターに本機能があり、文字の大きさと背景色の変更できる場合、②文字の大きさは変更できるが背景色は変えられない場合、③どちらの機能も備わっていない場合の3種類が確認できた。⑥（3段階）：サイト内の文章や文字にふりがなをつけることができ、かつ文章を読み上げることのできる機能がある場合を最も適切な状態とした。⑦（3段階）：日本語以外でもサイト

¹⁰ Google 検索セントラル。

を閲覧できる状態であれば、多様な住民の議会への関心を促す可能性がある。翻訳ツールの種類や対応言語数は問わず、日本語以外での閲覧機能が備わっていることを条件とした。なお、多言語対応に加え「やさしい日本語」を機能の一つとして用いている場合を最も高得点とした。

(4) 情報の得やすさ

四つ目の指標として、議会に関する情報が議会サイト内で見つけやすい・探しやすいかを測る（表4参照）。本指標の総合点が高ければ、サイト内が整理され、主に議会サイトトップページにおいて、得たい情報が効率的に閲覧できる議会サイトであると判断できる。

表4：(4) 情報の得やすさに関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	3	2	1.5	1	0.5	0	-1
①新着情報やお知らせ欄	-	2022年に更新	-	2022年以前更新のみ	欄があっても稼働無し	欄無し/議会サイト無	-
②議会サイトトップページの整理	目次がさらに細分化されている	サイドバーに目次有り	-	項目ごとにフォルダ分け	新着情報欄のみ	整理されていない/議会サイト無	情報が点在
③議会サイト内にある会議録における検索機能	-	柔軟な検索ができる	検索機能に制限がある	検索できない	-	機能無し/議会サイト無	-
④議会サイトの検索機能	-	-	-	議会サイト独自の機能	自治体サイトの機能を適用	セキュリティ保護されていない/議会サイト無	-

①（4段階評価）：議会情報の最新情報が議会トップページで確認できれば、住民は議会・議員の動向や活発な活動を把握しやすい。トップページにおける新着情報またはお知らせ欄設置の有無、また更新頻度の差異を点数化した（付録図10）。②（5段階）：議会サイトには、トップページにおいて情報が項目ごとに整理されている場合もあれば、様々な情報が混在しどこをクリックしていいか、どこに欲しい情報が載っているか不明瞭である場合もある。最も情報が整理されているのはサイドバーに目次がある場合とした。対照的に、新着情報・お知らせ欄がトップページ全体を占め、定例会・臨時会の予定や議会日より更新や審議結果といった議会に関する情報が点在しているサイトは、議会の情報をフォルダ分けし見やすく提供できていないため減点した（付録図11）。③（4段階）：会議での議員の発言をまとめた会議録閲覧によって、話し合いの結果や議会の実態を把握することができる。その点で、会議録に記載の情報を効率的に収集可能かどうか測ることは欠かせない。議会サイト内に会議録が掲載されており、かつキーワードや議員名などで柔軟

な検索が可能な場合、検索は可能でも単語での検索ができないなど制限がある場合、そして、会議録はあるが pdf 等で提供されているのみで、個々のキーワードの検索はできない場合、会議録が無いまたは議会サイトが無い場合を区別した。④（3段階）：議会サイト全体としての検索機能を確認した。各サイトの検索欄の有無を確認するだけでなく、実際にキーワード検索を試すことで使用可能か検証した（付録図 12）。

(5) 項目の多さ

この指標では、議会サイト内にどれだけ多くの種類の情報が掲載され住民に届けられているかを測った（表 5 参照）。サイト内にある情報項目の豊富さに着目し、PDF 等で表示されるかどうかは点数づけの対象としなかった。加えて、自治体サイトに議会情報をより多く掲載している議会もあるが、議会サイト内にある情報のみをカウントした。また、PDF 等で提供される書類等は、開かない限り情報が得られないため、サイト本体に掲載されている情報のみに注目した。各項目の容量は比較していない。41 種類の項目をカウントした¹¹。ポイントの付与方法は、基本的には該当する情報がある場合は 1、無ければ 0 とした。議会サイトが存在しない場合は全ての合計点が 0 となるように調整した。ただ、いくつかの項目においては点数の内訳に違いが見られるため、項目の内訳は、表 5 に記載した。

表 5：(5) 項目の多さに関する評価ポイントのうち、例外的に点数化した部分

評価ポイント	3	2	1	0
録画中継	2022 年以前のデータも閲覧できる	2022 年のみ	2022 年以前のみ	閲覧できない / 機能無し / 議会サイト無し
請願・陳情	-	様式や要綱、記載例ファイルも掲載	文章での説明のみ	無し / 議会サイト無し
議会だより / 議会通信	-	2022 年以前も閲覧できる	2022 年のみ閲覧できる	無し / 議会サイト無し
会議録	-	2022 年以前も閲覧できる	2022 年以前のみ	無し / 議会サイト無し
議会に関する写真 (主にトップページ)	-	議員の集合写真	議会 (議場一部その他) の写真	無し / 議会サイト無し

¹¹ 各項目は、議会についての基本情報の説明、議会の概要など (PDF)、議会の権限や仕事、議会の役割、委員会概要、議会広報状況一覧、議会 Q&A、議会用語解説、基本要綱・基本条例、村長と村議会の関係、開会から閉会の流れ、議長挨拶、監査、議会改革・議会活性化の取り組み、活動誌・活動報告、議員・議会予定表、会議日程、録画中継、インターネット配信、委員会名簿 (一部組合等も含む)、議員名簿、一般質問 (通告表含む)、請願・陳情、傍聴の案内、重要なお知らせ・新着情報、選挙について、政務活動費・議員報酬・議長交際費、議会だより・議会通信、会議録、行政視察のお知らせ、議会事務局について、党派一覧表、会派一覧表、議場案内、災害時対応基本計画、定例会・臨時会開催実績 (傍聴人数の掲載や請願陳情数の推移など)、住民に関わる情報 (議会 (議会だより) モニターについて、議会と住民の会議など)、全国町村議会議長会、議案および会議 (審議) 結果・一般会議結果、議会に関する写真。

(6) 議員情報の多さ

議員情報に限定した情報の多さを評価した（表6参照）。議員の情報が分かるポイントとして、当選回数、住所、党派、会派、所属委員会等役職、職業、年齢、生年月日、議員個人のSNS、メールアドレス、電話番号、FAX番号、議員としての抱負やコメント、議員定数の推移や沿革、歴代正副議長、議会SNSのリンクといった16点についてカウントした。なお、「(5)項目の多さ」と同様、基本的には情報の有無で1または0の点数としたが、情報の種類によっては異なる点数を設定している。

表6：(6) 議員情報の多さに関する各評価ポイントの内訳

評価ポイント	2	1	0.5	0
議員個人のSNS、メールアドレス、電話番号、FAX番号、議員としてのコメントや抱負、議員定数の推移・議会の沿革、歴代正副議長	-	掲載	-	無 / サイト無
当選回数、党派、会派、所属委員会等役職、職業、年齢、	-	議員個人の情報として掲載	表での掲載など、議員を特定できない / 一部の議員の情報のみ掲載	無 / サイト無
住所	-	番地まで記載	地区のみ記載	無 / サイト無
生年月日	-	生年月日を掲載	生年のみ掲載	無 / サイト無
議会SNSのリンク (YouTube、ブログ)	2種類を掲載	1種類を掲載	議会ではなく村のアカウントを掲載	無 / サイト無

(7) デジタル活用

紙媒体で配布されているものがインターネット上でも閲覧でき、端末に関わらず情報を得られる環境は、住民が場所や時間といった制約を受けずに議会情報を得る上で欠かせない。本指標では、議会サイトでどの程度デジタル活用しているか測定する（表7参照）。

表7：(7) デジタル活用に関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	1	0.5	0
①スマートフォンでの閲覧	文字や書類が適切	文字や目次が小さいなど問題有り	適切でない / 議会サイト無
②議会だよりのオンライン配布	掲載	最新号の掲載無し / 最新号のみ掲載	議会サイトでの掲載無し / 議会サイト無
③会議のリアルタイム配信	掲載	アカウントはあるが、配信履歴を確認できない	議会サイトでの掲載無し / 議会サイト無
④会議の録画配信	掲載	更新頻度が低い / アプリ無しで閲覧できない	議会サイトでの掲載無し / 議会サイト無

① (3段階評価) : デバイスの種類に関わらない情報発信の柔軟性という観点から、スマホでも問題なくサイトを閲覧することが可能か確認した。スマホで議会サイトを閲覧し、「スマートフォン用」にページが切り替わり、文字や書類等が適切な大きさで表示されているかに注目した。ただし、文字や目次が小さいなど閲覧の可視性に問題が見られると判断した場合は減点した(付録図13)。② (3段階) : 議会サイト上に議会だよりが掲載されている点を評価した。掲載されている議会だよりの最新号が無く過去(2022年以前)の議会だよりしか閲覧できない場合や、最新号しか掲載されていない場合は減点した。なお、議会ごとに異なる議会だよりの整理方法に関する項目は設けていない。③ (3段階) : 議会サイトからリアルタイムで会議の様子が閲覧できる場合を高評価とした。配信用のアカウントを所持していても配信履歴が確認できない場合は減点した。④ (3段階) : 録画配信を提供している場合、デジタルの活用がより適切に進んでいると判断した。更新が数年前で止まっているものや、アプリをダウンロードしなければ閲覧できない場合は減点している。②~④に共通して、自治体サイトでは閲覧可能であっても議会サイトに項目の一つとして含まれていなければ0点としている。

(8) 住民を意識した観点

議会や議員と住民との距離を縮めるためには、少しでも多くの情報をまとまった形で発信して住民に議会のことを知らせる必要がある。本指標は、住民に向けた透明性のある議会サイトの構築が実現しているか、住民がWebサイトを閲覧し情報を閲覧・収集することを想定したサイト作りが行われているかを測る(表8参照)。議会サイトが一方の情報発信手段になっている中、住民が議会サイトから議会の取り組みを知り、場合によっては議会に参加することのできる可能性を測ることができる。

表8 : (8) 住民を意識した観点に関する各評価ポイントと内訳

評価ポイント	3	2	1	0.5	0
①議会サイトの質に関するアンケート機能	-	-	機能有り	-	無/議会サイト無
②議員写真	-	工夫有り	写真有り	不明瞭	無/議会サイト無
③議会スケジュール	カレンダー機能の活用	お知らせ欄等、比較的把握しやすい	スケジュールが一律に整理されていない	-	無/議会サイト無
④議会に関する問い合わせ	-	ページの作成者と連絡先	「問い合わせ」と連絡先	-	無/議会サイト無
⑤ページのSNSでの共有	-	-	できる	-	できない/議会サイト無
⑥住民に向けた発信の工夫	4以上	2~3	1	-	無し/議会サイト無

① (2段階評価) : サイトや各ページの質に関して住民から率直な意見を収集できる機能は、議会サイトを今以上に使いやすいものにする。自治体サイトの機能に依存する部分であるが、アンケートの有無を点数化した(付録図14)。② (4段階) : 住民が議会や議員の実態を知るには、地域のために議会活動を行なう議員の様子を把握することも重要である。議員名簿に付随して、議員写真があるサイトを高く評価した。なお、議員写真の掲載方法に違いがあるため、議員写真をクリックすると拡大する場合を最高点、議員全体の写真が氏名とともに掲載されていて不明瞭な場合は0.5点と設定し、住民にとっての見やすさを重視した区別を行なった(付録図15)。③ (4段階) : 議会の透明性の確保を測る重要な観点の一つとして、カレンダー機能を活用して議会の月間あるいは年間の予定を住民が把握することのできる状態は3点とした。カレンダーは無いが、最新情報やお知らせ欄があるサイト、議会日程を見やすい位置に配置するなど議会のスケジュールが比較的把握しやすい構成であるサイトは2点とした。サイト内には日程等が掲載されているものの情報が整理されていないサイトは1点とした(付録図16)。④ (3段階) : 各ページに、議会サイトの作成や運営に責任を持つ部署の連絡先が適切に掲載されているかを評価した。最高得点は、ページやサイトの作成に責任を持っていると考えられる「ページ作成者」とその連絡先が表示される場合とした。「問い合わせ先」という表示とともに連絡先が記載されている場合は、ややサイト運営に消極的であると判断し、1点とした(付録図17)。⑤ (2段階) : 議会サイト内の各ページがSNSで共有可能か調べた。SNSの種類や数は評価対象としていない。⑥ (4段階) : 住民参加の観点から、住民と行う議会報告会や子ども議会等について、サイトを通して報告していくことは最も重要な条件の一つである¹²。本ポイントでは、議員報酬や議長交際費等、住民が注目する観点も評価対象としている点で、透明化に尽力する議会を測る。サイト内の情報に住民へ向けた効果的な内容が認められる場合、その数に応じてポイント化した。

3. Web サイト評価の記述統計

表9は、8指標の記述統計である。8指標のうち、特に項目の多さとアクセシビリティの意識においてばらつきが見られた。項目の多さでは最頻値が3、平均値が9点台ではあるが、最大値は29点と情報が豊富な議会サイトもあり、サイトの情報量の違いが明確である。アクセシビリティの意識に関しても、最頻値や平均値がおおよそ9~10点であるのに対し、最大値は18点と住民の閲覧をかなり意識している議会もある。一部の議会が情報量の多さやアクセシビリティへの意識が突出しており、議会サイトの内容や質をかなり重視した広報活動を行なっていると考えられる。対照的に、特にデジタル活用や情報の得やすさ、自治体との連携においては、全体的に議会の特徴が概ね類似する結果となった。

¹² 都道府県議会デジタル化専門委員会、令和3年6月25日。

表9：指標ごとの記述統計

	(1) 機能性	(2) 自治体と の連携	(3) アクセシ ビリティ	(4) 情報の得 やすさ	(5) 項目の多 さ	(6) 議員情報 の多さ	(7) デジタル 活用	(8)住民を 意識した 視点
最小値	0.00	0.00	0.00	-0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	6.43	2.55	10.36	2.26	9.38	2.66	1.65	2.62
中央値	7.00	2.00	11.00	2.00	8.00	2.50	2.00	2.00
最頻値	8.00	2.00	9 & 11	1.50	3.00	1.00	2.00	1.00
最大値	11.00	7.00	18.00	7.50	29.00	8.00	4.00	8.00

村議会のサイトを指標化するにあたり、議会についての基本的な説明内容が同じであるなど複数の議会サイトに類似性が見つかった¹³。他の議会においても、部分的に文章や構成の共有を行っている可能性がある。類似しているのはいずれも同県内自治体議会であり、自治体の距離の近さが影響していると考えられる。こうした類似性は、Webサイトの文章や構成において複数の議会や自治体間で協力体制が築かれていると捉えられる一方で、共有が目立つ議会のWebサイトの独自性は乏しくなり、住民に向けたメッセージが表面的なものになるとも捉えられる。工夫の乏しさは、サイトへの尽力の不十分さとして住民に伝わっていくかもしれない。

参考文献

- 有馬昌宏（2014）「自治体のソーシャルメディアによる情報発信と住民による情報入手の現状と課題」『経営情報学会 2014 年秋季全国研究発表大会要旨集』セッション ID H1-3, p.73-76.
- 北尾和信・杉田慶子（2003）「ホームページによる情報の発信とビジュアルコミュニケーション・デザインの見地からの評価：大阪府下自治体の IT への取り組みと実態について」『大阪樟蔭女子大学学芸学部論集』40 巻 p.103-118.
- 仲川薫・須田亨・善方日出夫・松本啓太（2001）「ウェブサイトユーザビリティアンケート評価手法の開発」『第 10 回ヒューマンインタフェース学会紀要』Oct. 2001 p.421-424.
- 中山八州男・林央周・遠藤俊郎（2006）「国内大学病院ウェブサイトにおけるアクセシビリティ情報調査」『医療情報学』26 巻 6 号 p.389-394.
- 山本幸子・黒木彩音・中園真人（2011）「地方自治体の空き家情報提供授業におけるウェブサイトの構成と特徴－中国・四国・九州地方の事例分析－」『日本建築学会技術報告集』17 巻 35 号 p.329-332.

引用出典

¹³ サイト内にある文章が似ていた議会は、奈良県曽爾村と御杖村、沖縄県中城村と読谷村である。

Google 検索セントラル『サイトリンク』

<<https://developers.google.com/search/docs/appearance/sitelinks?hl=ja>>閲覧日：
2022年12月5日。

厚生労働省『サイト閲覧支援ツール』<<https://www.mhlw.go.jp/etsuranshien/index.html>>
閲覧日：2022年12月5日。

総務省情報流通行政局情報通信利用促進課『総務省「地方公共団体等におけるホームページのバリアフリー化に関する講習会」（2016年9～11月）公的機関に求められるホームページ等のアクセシビリティ対応』

<https://www.soumu.go.jp/main_content/000438394.pdf>閲覧日：2022年12月5日。

都道府県議会デジタル化専門委員会『都道府県議会デジタル化専門委員会報告書』2021年6月25日5頁<http://www.gichokai.gr.jp/kenkyu/pdf/report_030625.pdf>閲覧日：2022年12月5日。

日経BPマーケティング『Webブランド調査の指標』<

<https://www.nikkeibpm.co.jp/item/206/386/evaluationIndex.html>>閲覧日：2022年7月24日。

補遺 自治体議会 Web サイトランキング

表 10：(1)Web サイトの機能性における自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	11	2	川内村(福島)、南阿蘇村(熊本)
3	10	10	北塩原村(福島)、東海村(茨城)、榛東村(群馬)、長生村(千葉)、中川村(長野)、生坂村(長野)、朝日村(長野)、松川村(長野)、佐那河内村(徳島)、西原村(熊本)
:	:	:	:
174	0	10	檜枝岐村(福島)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、平谷村(長野)、売木村(長野)、上北山村(奈良)、東吉野村(奈良)、西粟倉村(岡山)、三原村(高知)、南大東村(沖縄)

表 11：(2)自治体との連携における自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	7	3	大潟村(秋田)、舟橋村(富山)、五木村(熊本)
4	6	4	佐井村(青森)、東峰村(福岡)、十島村(鹿児島)、読谷村(沖縄)
8	5	4	赤井川村(北海道)、生坂村(長野)、国頭村(沖縄)、東村(沖縄)
:	:	:	:
149	1	30	真狩村(北海道)、音威子府村(北海道)、風間浦村(青森)、鮭川村(山形)、大玉村(福島)、北塩原村(福島)、湯川村(福島)、鮫川村(福島)、榛東村(群馬)、南牧村(群馬)、檜原村(東京)、小菅村(山梨)、平谷村(長野)、売木村(長野)、喬木村(長野)、木祖村(長野)、大桑村(長野)、上北山村(奈良)、西粟倉村(岡山)、馬路村(高知)、芸西村(高知)、日高村(高知)、三原村(高知)、水上村(熊本)、球磨村(熊本)、諸塚村(宮崎)、椎葉村(宮崎)、大宜味村(沖縄)、渡名喜村(沖縄)、伊平屋村(沖縄)
179	0	5	檜枝岐村(福島)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、東吉野村(奈良)、南大東村(沖縄)

表 12：(3)アクセシビリティの意識における自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	18	2	大玉村(福島)、天栄村(福島)
3	17	4	北塩原村(福島)、東海村(茨城)、長生村(千葉)、高山村(長野)、
7	16	9	飯館村(福島)、東秩父村(埼玉)、刈羽村(新潟)、北相木村(長野)、南箕輪村(長野)、木島平村(長野)、日吉津村(鳥取)、椎葉村(宮崎)、恩納村(沖縄)
:	:	:	:
173	0	11	檜枝岐村(福島)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、丹波山村(山梨)、平谷村(長野)、売木村(長野)、上北山村(奈良)、東吉野村(奈良)、西粟倉村(岡山)、三原村(高知)、南大東村(沖縄)

表 13：(4)情報の得やすさにおける自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	7.5	1	東海村（茨城）
2	7	1	榛東村（群馬）
3	6.5	4	平田村（福島）、東秩父村（埼玉）、長生村（千葉）、松川村（長野）
7	6	1	川内村（福島）
8	5.5	8	大衡村（宮城）、大玉村（福島）、天栄村（福島）、飯館村（福島）、川場村（群馬）、 檜原村（東京）、南箕輪村（長野）、中川村（長野）
：	：	：	：
165	0	18	檜枝岐村（福島）、御蔵島村（東京）、青ヶ島村（東京）、粟島浦村（新潟）、丹波山村 （山梨）、南相木村（長野）、平谷村（長野）、売木村（長野）、十津川村（奈良）、上 北山村（奈良）、東吉野村（奈良）、西栗倉村（岡山）、馬路村（高知）、三原村（高 知）、三島村（鹿児島）、渡名喜村（沖縄）、南大東村（沖縄）、伊平屋村（沖縄）
183	-0.5	1	水上村（熊本）

表 14：(5)項目の多さにおける自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	29	1	宮田村（長野）
2	26.5	1	東海村（茨城）
3	24.5	1	南箕輪村（長野）
4	24	1	更別村（北海道）
5	23	2	中札内村（北海道）、清川村（神奈川）
7	22	1	日吉津村（鳥取）
8	21	1	恩納村（沖縄）
9	20.5	2	榛東村（群馬）、千早赤阪村（大阪）
：	：	：	：
171	0	13	音威子府村（北海道）、檜枝岐村（福島）、青ヶ島村（東京）、粟島浦村（新潟）、丹波山 村（山梨）、平谷村（長野）、売木村（長野）、上北山村（奈良）、東吉野村（奈良）、西 栗倉村（岡山）、三原村（高知）、三島村（鹿児島）、南大東村（沖縄）

表 15：(6)議員情報の多さにおける自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	8	1	宮田村(長野)
2	7	5	初山別村(北海道)、東成瀬村(秋田)、檜原村(東京)、飛島村(愛知)、千早赤阪村(大阪)
7	6.5	1	喬木村(長野)
8	6	4	東海村(茨城)、高山村(長野)、栄村(長野)、水上村(熊本)
:	:	:	:
158	0	26	泊村(北海道)、音威子府村(北海道)、檜枝岐村(福島)、御蔵島村(東京)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、丹波山村(山梨)、原村(長野)、平谷村(長野)、根羽村(長野)、売木村(長野)、上北山村(奈良)、東吉野村(奈良)、北山村(和歌山)、新庄村(岡山)、西粟倉村(岡山)、三原村(高知)、赤村(福岡)、三島村(鹿児島)、国頭村(沖縄)、渡名喜村(沖縄)、南大東村(沖縄)、北大東村(沖縄)、伊平屋村(沖縄)、伊是名村(沖縄)、多良間村(沖縄)

表 16：(7)デジタル活用における自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	4	13	猿払村(北海道)、中札内村(北海道)、更別村(北海道)、戸沢村(山形)、湯川村(福島)、西郷村(福島)、平田村(福島)、飯館村(福島)、利島村(東京)、新島村(東京)、舟橋村(富山)、大和村(鹿児島)、恩納村(沖縄)
:	:	:	:
164	0	20	田舎館村(北海道)、檜枝岐村(福島)、上野村(群馬)、南牧村(群馬)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、丹波山村(山梨)、平谷村(長野)、売木村(長野)、豊根村(愛知)、上北山村(奈良)、東吉野村(奈良)、西粟倉村(岡山)、佐那河内村(徳島)、北川村(高知)、三原村(高知)、三島村(鹿児島)、渡嘉敷村(沖縄)南大東村(沖縄)、伊平屋村(沖縄)

表 17：(8)住民を意識した観点における自治体ごとの順位

順位	評価 (点)	自治 体数	自治体名
1	8	1	南箕輪村(長野)
2	7	7	中札内村(北海道)、大玉村(福島)、川内村(福島)、東海村(茨城)、中川村(長野)、宮田村(長野)、高山村(長野)
9	6	10	更別村(北海道)、大衡村(宮城)、榛東村(群馬)、高山村(群馬)、檜原村(東京)、清川村(神奈川)、白馬村(長野)、野沢温泉村(長野)、千早赤阪村(大阪)、明日香村(奈良)
:	:	:	:
155	0	29	島牧村(北海道)、泊村(北海道)、音威子府村(北海道)、田舎館村(青森)、檜枝岐村(福島)、南牧村(群馬)、神津島村(東京)、御蔵島村(東京)、青ヶ島村(東京)、粟島浦村(新潟)、舟橋村(富山)、丹波山村(山梨)、青木村(長野)、平谷村(長野)、根羽村(長野)、売木村(長野)、下北山村(奈良)、上北山村(奈良)、川上村(奈良)、東吉野村(奈良)、北山村(和歌山)、新庄村(岡山)、西粟倉村(岡山)、三原村(高知)、赤村(福岡)、三島村(鹿児島)、渡名喜村(沖縄)、南大東村(沖縄)、伊平屋村(沖縄)